

# 講義科目4-12

## 臨床行動学モデル・コア・カリキュラム

### 全体目標

臨床行動学について、その基本的な概念、すなわち、問題行動の定義、種類、特徴、原因、病態生理、危険因子、症状、診断法および治療法などを体系的に理解し、応用する能力を修得する。

### (1) 問題行動とコンサルテーション

#### 一般目標：

臨床行動学全般に共通する基礎知識と行動治療の進め方を理解する。

#### 到達目標：

- 1) 問題行動の定義を説明できる。
- 2) 問題行動コンサルテーション技法を説明できる。
- 3) 問題行動の診断と治療の進め方を説明できる。

### (2) 行動治療の方法

#### 一般目標：

行動治療全般に共通する治療方法の基礎知識や技能を学び、治療方針の立て方を修得する。

#### 到達目標：

- 1) 行動修正法の種類と適用を説明できる。
- 2) 行動治療における薬物療法の種類と適用を説明できる。
- 3) 行動治療における外科的療法およびその他の療法の種類と適用を説明できる。

### (3) 犬における攻撃性に関連する問題行動

#### 一般目標：

犬における攻撃行動の発現機序、診断法および治療法を学ぶ。

#### 到達目標：

- △1) 攻撃行動の分類と動機づけを説明できる。

△2) 攻撃行動に関連する生得的因子と環境因子を説明できる。

△3) 攻撃行動の診断基準と治療法を説明できる。

### (4) 犬における恐怖・不安に関連する問題行動およびその他の問題行動

#### 一般目標：

犬における恐怖あるいは不安に起因する問題行動およびその他の問題行動の発現機序、診断法および治療法を学ぶ。

#### 到達目標：

- △1) 恐怖・不安に起因する問題行動およびその他の問題行動の種類と動機づけを説明できる。
- △2) 恐怖・不安に起因する問題行動およびその他の問題行動の生得的因子と環境因子を説明できる。
- △3) 恐怖・不安に起因する問題行動およびその他の問題行動の診断基準と治療法を説明できる。

### (5) 猫における問題行動

#### 一般目標：

猫における問題行動の発現機序、診断法および治療法を学ぶ。

#### 到達目標：

- △1) 猫における排泄に関連する問題行動を説明できる。
- △2) 猫における攻撃性に関連する問題行動を説明できる。
- △3) 猫におけるその他の問題行動を説明できる。

## (6) 犬、猫以外の動物における問題行動

### 一般目標：

犬、猫以外の伴侶動物、産業動物、展示動物の問題行動に関する基礎知識を修得する。

### 到達目標：

- △1) 犬、猫以外の伴侶動物の主な問題行動を説明できる。
- △2) 産業動物の問題行動を説明できる。
- △3) 展示動物の問題行動を説明できる。

## (7) 問題行動の予防

### 一般目標：

問題行動を予防するための基礎知識を修得する。

### 到達目標：

- △1) 個々の飼い主に適した伴侶動物の選択基準を説明できる。
- △2) 十分な社会化と馴化のために必要な事項を説明できる。
- △3) 動物の心理的健康を評価し改善するための行動学的手法を説明できる。